

令和8年度

授業シラバス・  
年間指導計画

英語  
(3年)

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教科書
外国語	英語コミュニケーションⅢ (英コミュ)	3	教科書: ELEM-NT Communication English Ⅲ (翰林館) 副教材: Aim High Vol.1 (英研社)

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域(聞くこと・読むこと・話すこと(やり取り)・話すこと(発表)・書くこと)において言語活動及びこれらと結び付けた総合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	---

授業形態 アドバイス など	<p>本コースの授業です。3年次の英語コミュニケーションⅢの授業は、1-2年次で学習した内容を発展させたものになります。1-2年で学習した内容で理解できていないところがあると英語コミュニケーションⅢではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。宿題をしっかりとしましょう。また、提出物は期限を守ってください。そのためには、計画的な取り組みが必要です。</p>
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。</p>	<p>場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。</p>
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	<p>教養力:幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力:論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力 表現力:思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力:多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力:自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な評価方法	<p>○定期考査 ○授業・発表内容の観察 ○授業関連提出課題の点検</p>	<p>○定期考査 ○授業・発表内容の観察 ○授業関連提出課題の点検</p>	<p>○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○授業関連提出課題の点検</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通期	ELEMENT L5 Diversity	Emojiについての本文を読み、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理したりする。	読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	本文に関連した内容に関して、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	Aim High Unit 11 おもちゃの歴史	千年前のおもちゃから現代のおもちゃへの変化について概要や詳細を理解する。	現代のおもちゃに関して読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	現代のおもちゃに関して自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	ELEMENT L6 Education	スタンフォード大学の授業について読み、概要や詳細を理解する。	読んだ内容に関し、自分の意見を書いたりして表現することができる。	大学へ進学する理由について考えを書いたり話して伝えることができるようにする。
	Aim High Unit 12 ネアンデルタール人の骨	ネアンデルタール人の骨から明らかになることについて概要や詳細を理解する。	骨からわかる彼らの進化についてどう思うか、話したり書いたりして表現することができる。	DNAの研究について自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	ELEMENT L7 Miracles of Nature	鳥の卵の形の研究についてかかれた文章を読み、概要や詳細を理解する。	人間にとって身近な動物である鳥について、本文の内容を元に話したり書いたりして表現することができる。	本文に関連する内容に対し、自分で考えて意見を伝えることができるようにする。
	Aim High Unit 13 科学者の信頼	科学者による徹底的な検証により科学は誠実であり続けることについて概要や詳細を理解する。	現代の生活を支える科学について、話したり書いたりして表現することができる。	現代の生活を支える科学について、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	ELEMENT L8 Sustainable Development	フードテックに関する本文を読み、概要や詳細を理解する。	持続可能な開発について、本文の内容を踏まえ話したり書いたりして表現することができる。	持続可能な社会のために話したり書いたりして表現することができるようにする。
	Aim High Unit 14 宇宙飛行士	現代の宇宙飛行士について概要や詳細を理解する。	宇宙開発について、話したり書いたりして表現することができる。	宇宙開発やNASAの取り組みについて、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	ELEMENT L9 Art and Heart	アルブレヒト・デューラーの「祈りの手」にまつわるエピソードを読み、概要や詳細を理解する。	「祈りの手」にまつわる本文を読み、リテリングを行うなど、本文の内容を踏まえて相手に伝えることができる。	「芸術と心」について自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	Aim High Unit 15 フューチャーライブラリー	フューチャーライブラリーとは何か、その目的は何かについて概要や詳細を理解する。	紙の本を未来に残す取り組みについて、話したり書いたりして表現することができる。	紙の本を未来に残す取り組みについて、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
ELEMENT L10 Human Relationships	「人とのつながり」にまつわるエピソードを読み、概	「人とのつながり」にまつわる本文を読み、内容を踏まえて	筆者が生徒に渡した「すべての長所リスト」にどの	

		要や詳細を理解する。	話したり書いたりすることができる。	ような価値があったのかについて、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
備考				

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
外国語	英語コミュニケーションⅢ (R英コミュ)	3	教科書: ELEMENT English Communication Ⅲ(啓林館) 副教材: Cutting Edge -Orange- (エミル出版)

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	---

授業形態 アドバイス など	<p>Rコースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅢの内容をさらに発展させたものです。徹底的に反復学習しましょう。予習・授業・復習という学習スタイルが入試を攻略する英語力につながります。すぐに辞書に頼らずに、まず、自力のみで英文を読む習慣をつけましょう。速読、パラグラフリーディングなど、多量の英文を速く正確に読み、重点をつかむ練習をしていきましょう。</p>
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。</p>	<p>場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。</p>
育みたい資質 (読解・筆記 との関連)	<p>教養力:幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力:論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力 表現力:思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力:多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力:自らの行動を振り返り改善し前に進み出す力</p>
主な 評価方法	<p>○定期考査 ○小テスト(ポキャブラリー) ○Achievement Check(知識・技能) ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート</p>	<p>○定期考査 ○ワークシート ○Achievement Check(思考・判断・表現) ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート</p>	<p>○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○Achievement Check(自由記述)</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	L5 Diversity	多様性に関する語彙を聞いたり、Emoji-The Language of Online World を読んだりして、話し手や書き手の意図を捉え、要旨や概要を把握することができる。	Gender について、問題を指摘できるとともに、読んだことを基に、自分の意見を話したり書いたりして表現することができる。	本文理解のために不足している背景知識を自分で補おうとしている。
	L6 Education	大学での学びについて、教授と学生のやりとりを聞いたり、学ぶ内容を読んだりして、話し手や書き手の意図や要旨・概要を把握することができる。	大学での学びについて、自分のビジョンや自分の学びをどう深めるか、自分の意見を具体的に表現することができる。	本文理解や自己表現する際に不足している背景知識を自分で補おうとしている。
	L7 Miracles of Nature	自然についてのネット情報を聞いたり、卵の形状と鳥の特徴について書かれた文章を読んだりして、情報や書き手の意図や要旨を理解することができる。	自然の不思議や奥深さについて、自分で調べ、教科書の内容に付加しながら自分の理解を深め、その内容を第三者に伝えることができる。	自然の奥深さについて疑問に思ったことを自ら調べ、自分の知識として取り込もうとしている。
	L8 Sustainable Development	食べ物の保存方法についてのプレゼンを聞いたり、Food Technology の未来を読んだりして、話し手や書き手の主張や要旨を理解することができる。	食料生産の技術や工夫を自ら調べ、教科書から得た情報に組み合わせ、自分の理解を表現することができる。	新しい科学技術について情報を自ら収集しようとしている。新たな技術を模索しようとしている。
	Pleasure Reading 2 An Alien Megastar	本文を読み、不可解な天文現象について科学者のアプローチを理解するとともに、量の明るさが変化することから多くの研究がなされていることを知る。	宇宙の奥深さについて自分の理解を表現することができる。自分の興味を深掘りし、その理解に付加して表現することができる。	自分の興味・関心を深めようとしている。自分の理解をまとめようとしている。

後期	<p>L9 Art and Heart</p> <p>L10 Human Relationships</p> <p>Cutting Edge Orange Chapter 1 絶滅種とDNA</p> <p>Chapter 2 ジョギング</p> <p>Chapter 3 My Cookies</p> <p>Chapter 4 Transition of Language</p> <p>Chapter 5 視覚</p>	<p>公共物への落書きは芸術か破壊行為かの議論を聞いた。Praying Handsを読んだりして、話し手や書き手の意図や行間を理解し要旨や概要を把握することができる。</p> <p>人間の社会的ネットワークの仕組みについて視察したり、All the Good Thingsを読んだりして、詳細や行間を理解し、要旨や概要を把握することができる。</p> <p>ONA 研究を取り巻く環境にも目を向けつつ、本来の目的は何かについて本文を読んで、詳細や概要を把握することができる。</p> <p>ジョギングと健康との関係についての文章を読み、要旨を正確に捉えたとともに、概要を把握することができる。</p> <p>物語を読んで、オチを的確に捉えることができる。概要を把握し、何が面白いのか読み取ることができる。</p> <p>英語の単語について、訳生や現在の使用場面など詳細を理解し、言語の奥深さについて把握することができる。</p> <p>視覚と脳との関係を描いた英文を読んで、脳の働きについて正確に把握する。</p>	<p>「祈りの手」にまつわるエピソードや、芸術が歴史の中でどのような役割を演じていたか、深く探り、「芸術とは何か」を考え、表現することができる。</p> <p>個と社会との関係について、哲学的な素材にも魅れながら、自分と社会とのつながりについて、自分の考えを整理し、表現することができる。</p> <p>絶滅種を復活させる意義について、自分の意見を構築し、他者に伝えることができる。</p> <p>ジョギングは健康によいという前提同様、他にも「思い込み」を探り、自分の発見したことを英語で表現することができる。</p> <p>本文の面白さはどこにあるのか、表現することができる。違う結末を予想して表現することができる。</p> <p>本文の内容について自分の理解を表現できる。英語がどのような背景を持つ言語か関連素材をもとに自分の理解を表現することができる。</p> <p>脳の認知機能について、さまざまな感覚機能との関係を関連素材から学び、本文の内容と合わせて、自分の理解を表現することができる。</p>	<p>芸術にまつわるエピソードから自分なりの芸術論を構築しようとしている。他者の考えを尊重し、ともに感化しあっている。</p> <p>個を社会という文脈の中で考えようとしている。自分は社会とどのように関わっていくのか独自の観点を持とうとしている。</p> <p>絶滅種を復活させることの意義について、事実をもとに自分の考えを練り交ぜながら伝えようとしている。</p> <p>既成概念や前提にたいして意見を唱える姿勢を持とうとしている。説得力のあるサポートを準備しようとしている。</p> <p>本文のオチを探ろうとしている。自分の理解を構造的に相手に伝えようとしている。</p> <p>ペアで互いが持っている情報を共有し、自分の情報に加えようとしている。</p> <p>脳の機能について興味・関心を高め、関連情報を自ら探ろうとしている。ペアで互いが持っている情報を共有しようとしている。</p>
備考				

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名 (校内名称)	単位数	教科書
外国語	論理・表現Ⅲ (- 論理Ⅲ)	2	教科書: Vision Quest English Logic and ExpressionⅢ (啓林館) 副教材: Write to the Point* (数研出版)

学習のねらい	<p>「論理・表現Ⅰ, Ⅱ」の学習内容を踏まえ、「話すこと(やり取り)」、「話すこと(発表)」、「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。</p> <p>具体的な活動と領域は以下の通り。</p> <p>(1) 話すこと[やり取り]</p> <p>日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(2) 話すこと[発表]</p> <p>日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(3) 書くこと</p> <p>日常的・社会的な話題について、複数の資料を活用して、段階的な手順を踏みながら、読み手を説得することができるよう、意見や主張などを効果的な理由や根拠とともに、複数の段落を用いて書いて伝えることができるようにする。</p>
--------	---

授業形態 アドバイス など	<p>本コースの授業です。3年次の論理・表現Ⅲの授業は、2年次で学習した内容をさらに発展させたものです。</p> <p>ペアワークで即時的に自分の考えや意見を英語で説明したり、自分で集めたトピックを設定して考えをまとめて書くトレーニングをしたりするなど、2年次までの授業や自主学習で身につけた知識を活用する場面を多く設定します。授業後の復習を丁寧に行うことで、より知識が深く定着します。</p>
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>[知識]</p> <p>英語の特徴やさまじりに関する事項及びその働きや役割を理解している。</p> <p>[技能]</p> <p>目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。</p>	<p>目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。</p>
育みたい資力 (資質・能力) との関連	<p>教養力:幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力:論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力</p> <p>表現力:思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力:多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力</p> <p>省察力:自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>

主な 評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検		○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検		○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検	
	学期	学習内容	学習の到達目標			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	Lesson 1 学習/言語 Friendship and improvement	[読むこと] ・学生の悩み解決: 留学中の2人の日本人学生から送られた相談メールを読んで、それぞれの悩みを理解する。	[話すこと] 助言(Advice): 助言を与える表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	・留学中の学生に悩みの解決策を助言するために、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。		
	Lesson 2 学習/言語 Which is better, a paper or an electronic dictionary?  (Write to the Point) L1	[聞くこと] ・紙の辞書と電子辞書: 書店で販売員が「紙の辞書」と「電子辞書」の説明を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。  ・「少ない」「増えている」などの例文を読んで理解する。	譲歩(Concession): 譲歩する表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。  [書くこと] ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	・初級の言語学習者は「紙の辞書」と「電子辞書」のどちらを使うのが良いかについて、自分の意見を論理的な構成や展開を書く。  ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。		
	Lesson 3 心理 Can you change your personality?	[読むこと] ・悩み相談コラム: 相談コラムに寄せられた性格に関する悩みと返信の投稿を読んで、その悩みと助言を理解する。	[話すこと] ・関係(Relationships): 物事の間接を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	・自分の性格について、子供の頃の性格と比較しながら、理由や具体例とともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。		
	Lesson 4 心理 How do we make decisions?  (Write to the Point) L7	[聞くこと] ・決断: 心理学の授業で、2つの異なる「決断スタイル」に関する講義を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。  ・一般論を述べるときの主語の決定について例文を読んで理解する。	判断の根拠(Bases of decisions): 判断の根拠を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。  [書くこと] ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	・これまでの重大な決断について、いつどのように決断したか、また決断の結果について、論理的な構成や展開を工夫して書く。  ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。		
	Lesson 5 医療/健康 Online doctor consultations	[読むこと] ・オンライン診療: 留学中にインターネットで調べた病院のウェブサイトを見て、オンライン診療と対面診療の利点について考える。	[話すこと] ・代替(Alternatives): 代替を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	・オンライン診療と対面診療の利点について考え、どちらがより良いと思うかについて、論理的な構成や展開を工夫して書く。		
	Lesson 6 医療/健康 Healthy lifestyle	[聞くこと] ・健康的な生活スタイル: クラスメートのジェイクと沙也加との会話を聞いて、ジェイクの状況や問題点を理解する。	結果(Result): 結果を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	ジェイクのクラスメートとして、生活の問題点と改善策を示して助言するため、論理的な構成や展開を工夫して書く。		

後期	<p>(Write to the Point) L.3</p> <p>Lesson 7 異文化 What do you do after school?</p> <p>Lesson 8 異文化 Direct and indirect ways of communication</p> <p>(Write to the Point) L.4</p> <p>Lesson 9 情報化社会 Should we use social media?</p> <p>Lesson 10 情報化社会 Are you a good user of social media?</p> <p>(Write to the Point) L.5</p> <p>(Write to the Point) L.6</p> <p>(Write to the Point) L.7</p>	<p>・「～するために」「～しないように」の表現を例文を読んで理解する。</p> <p>[読むこと] - 課外活動の違い: 日本とアメリカの課外活動の形態について、やり取りされる学生同士のメール文を読んで、それぞれの課外活動の特徴や違いを理解する。</p> <p>[聞くこと] なるコミュニケーションスタイル: 2つのコミュニケーション文化(高コンテキストと低コンテキスト)について話される構文を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。</p> <p>[読むこと] - 「～のために」「～のおかげで」の表現を例文を読んで理解する。</p> <p>[読むこと] - SNS の好影響と悪影響: SNS のプラス面とマイナス面について書かれた記事を読んで、SNS が日常生活に与える影響について考える。</p> <p>[聞くこと] SNS 上のトラブル: 学生に頻発する SNS 上のトラブルについて話される構文を聞いて、その問題点や予防のために必要なスキルを理解する。</p> <p>- 時刻に注意して、例文を理解することができる。</p> <p>- be going to と will の使い分けについて、例文を読んで理解する。</p> <p>- 動詞の語法について例文を読んで理解する。</p>	<p>[書くこと] - 正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。</p> <p>[書くこと] - 物事の正負の影響 (Positive &amp; negative affects): 物事の正負の影響に関する表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。</p> <p>差異 (Differences): 差異を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。</p> <p>[書くこと] - 正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。</p> <p>[話すこと] - 類似 (Similarity): 類似を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。</p> <p>[書くこと] 理由 (Reasons): 理由を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。</p> <p>[書くこと] - 正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。</p> <p>[書くこと] - 正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。</p>	<p>・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。</p> <p>・アメリカの課外活動と日本の課外活動の形態のどちらが良いと思うかについて、自分の経験を踏まえて、自分の意見を理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。</p> <p>・日本人にとって、高コンテキストのコミュニケーションが有益かどうかについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。</p> <p>・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。</p> <p>・SNS の使用のメリットとデメリットについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書く。</p> <p>・SNS の適切な使用を奨励するために、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。</p> <p>・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。</p> <p>・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。</p> <p>・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。</p>
備考				

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
外国語	論理・表現Ⅲ (R論表Ⅲ)	2	教科書: Vision Quest English Logic and ExpressionⅢ [啓林館] 副教材: 'Write to the Point' (数研出版)

学習のねらい	<p>「論理・表現Ⅰ、Ⅱ」の学習内容を踏まえ、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。</p> <p>具体的な活動と領域は以下の通り。</p> <p>(1) 話すこと[やり取り]</p> <p>日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(2) 話すこと[発表]</p> <p>日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(3) 書くこと</p> <p>日常的・社会的な話題について、複数の資料を活用して、段階的な手順を踏みながら、読み手を説得することができるよう、意見や主張などを効果的な理由や根拠とともに、複数の段落を用いて書いて伝えることができるようにする。</p>
--------	--

授業形態 アドバイス など	<p>Rコースの授業です。3年次の論理・表現Ⅲの授業は、2年次で学習した内容をさらに発展させたものです。</p> <p>ペアワークで即興的に自分の考えや意見を英語で説明したり、自分で素早くトピックを設定して考えをまとめて書くトレーニングをしたりするなど、2年次までの授業や自主学習で身につけた知識を活用する場面を多く設定します。授業後の復習を丁寧に行うことで、より知識が深く定着します。</p>
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>[知識]</p> <p>英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。</p> <p>[技能]</p> <p>目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。</p>	<p>目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自発的に表現しようとしている。</p>
育てたい生徒像 (資力・能力) との関連	<p>教養力: 幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力: 論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力</p> <p>表現力: 思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力: 多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力</p> <p>省察力: 自らの行動を振り返り改善し前に進み出す力</p>

主な評価方法		○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検	
		学期	学習内容	学習の到達目標	
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
前期	Lesson 1 学習/言語 Friendship and improvement	[読むこと] ・学生の悩み解決: 留学中の2人の日本人学生から送られた相談メールを読んで、それぞれの悩みを理解する。	[話すこと] 助言(Advice): 助言を与える表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	・留学中の学生に悩みの解決策を助言するために、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。	
	Lesson 2 学習/言語 Which is better, a paper or an electronic dictionary?  (Write to the Point) 1.1	[聞くこと] ・紙の辞書と電子辞書: 書店で販売員が話す「紙の辞書」と「電子辞書」の説明を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。  ・「少ない」「増えている」などの例文を読んで理解する。	譲歩(Concession): 譲歩する表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。  [書くこと] ・正しい表現を使って日本語を英訳に直すことができる。	・初級の言語学習者は「紙の辞書」と「電子辞書」のどちらを使うのが良いかについて、自分の意見を論理的な構成や展開を書く。  ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。	
	Lesson 3 心理 Can you change your personality?	[読むこと] ・悩み相談コラム: 相談コラムに寄せられた性格に関する悩みと通信の投稿を読んで、その悩みと助言を理解する。	[話すこと] ・関係(Relationships): 物事の間接を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	・自分の性格について、子供の頃の性格と比較しながら、理由や具体例とともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。	
	Lesson 4 心理 How do we make decisions?  (Write to the Point) 1.2	[聞くこと] ・決断: 心理学の授業で、3つの異なる「決断スタイル」に関する講義を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。  ・一般論を述べるときの主語の決定について例文を読んで理解する。	判断の根拠(Bases of decisions): 判断の根拠を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。  [書くこと] ・正しい表現を使って日本語を英訳に直すことができる。	・これまでの重大な決断について、いつどのように決断したか、また決断の結果について、論理的な構成や展開を工夫して書く。  ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。	
	Lesson 5 医療/健康 Online doctor consultations	[読むこと] ・オンライン診療: 留学中にインターネットで調べた病院のウェブサイトを見て、オンライン診療と対面診療の利点について考える。	[話すこと] ・代替(Alternatives): 代替を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	・オンライン診療と対面診療の利点について考え、どちらがより良いと思うかについて、論理的な構成や展開を工夫して書く。	
	Lesson 6 医療/健康 Healthy lifestyle	[聞くこと] ・健康的な生活スタイル: クラスメートのジェイクと沙也加との会話を聞いて、ジェイクの状況や問題点を理解する。	結果(Result): 結果を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	ジェイクのクラスメートとして、生活の問題点と改善策を示して助言するため、論理的な構成や展開を工夫して書く。	

後期	<p>(Write to the Point) L3</p> <p>Lesson 7 異文化 What do you do after school?</p> <p>Lesson 8 異文化 Direct and indirect ways of communication</p> <p>(Write to the Point) L4</p> <p>Lesson 9 情報化社会 Should we use social media?</p> <p>Lesson 10 情報化社会 Are you a good user of social media?</p> <p>(Write to the Point) L5</p> <p>(Write to the Point) L6</p> <p>(Write to the Point) L7</p>	<p>・「～するために」「～しないように」の表現を例文を読んで理解する。</p> <p>[読むこと] ・課外活動の違い:日本とアメリカの課外活動の形態について、やり取りされる学生同士のメール文を読んで、それぞれの課外活動の特徴や違いを理解する。</p> <p>[聞くこと] 異なるコミュニケーションスタイル:2つのコミュニケーション文化(高コンテキストと低コンテキスト)について話される相違を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。</p> <p>・「～のために」「～のおかげで」の表現を例文を読んで理解する。</p> <p>[読むこと] ・SNSの好影響と悪影響: SNSのプラス面とマイナス面について書かれた記事を読んで、SNSが日常生活に与える影響について考える。</p> <p>[聞くこと] SNS上のトラブル:学生に転発するSNS上のトラブルについて話される講義を聞いて、その問題点や予防のために必要なスキルを理解する。</p> <p>・時刻に注意して、例文を理解することができる。</p> <p>・the going to と will の使い分けについて、例文を読んで理解する。</p> <p>・動詞の語法について例文を読んで理解する。</p>	<p>[書くこと] ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。</p> <p>[書くこと] ・物事の正負の影響 (Positive &amp; negative affects):物事の正負の影響に関する表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。</p> <p>差異 (Differences): 差異を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。</p> <p>[書くこと] ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。</p> <p>[話すこと] ・類似 (Similarity): 類似を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。</p> <p>[書くこと] 理由 (Reasons): 理由を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。</p> <p>[書くこと] ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。</p> <p>[書くこと] ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。</p>	<p>・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。</p> <p>・アメリカの課外活動と日本の課外活動の形態のどちらが良いと思うかについて、自分の経験を踏まえて、自分の意見を理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。</p> <p>・日本人にとって、高コンテキストのコミュニケーションが有益かどうかについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。</p> <p>・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。</p> <p>・SNSの使用のメリットとデメリットについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書く。</p> <p>・SNSの適切な使用を奨励するために、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。</p> <p>・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。</p> <p>・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。</p> <p>・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。</p>
備考				

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教材
英語	スルーリーディングL	1	ALL EARS Pre-Advanced（英辞社） Reading Core for 共通テスト（啓隆社）

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の3つの領域において言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを促す資質・能力を養う。</p> <p>①外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能）</p> <p>②場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力）</p> <p>③外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）</p>
--------	--

授業形態 アドバイス など	<p>スルーリーディングの授業は、様々なテーマの英文を読んだり聞いたりし、その内容に関して、また、本文の表現を応用して、様々な表現活動を行います。授業中の活動に積極的に参加しましょう。</p>
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。</p>	<p>場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。</p>
育てたい生徒 （資質・能力） との関連	<p>教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力：論理的に考え、批判的に捉え下げ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な 評価方法	<p>○定期考査 ○授業・発表内容の観察 ○授業関連提出課題の点検</p>	<p>○定期考査 ○授業・発表内容の観察 ○授業関連提出課題の点検</p>	<p>○授業・発表態度の観察 ○授業関連提出課題の点検</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1 目的に合わせて必要な情報を読み取る	【聞くこと】 ・場面や状況に応じた表現を知っている。	【聞くこと】 ・理解できないとき、確認したり、繰り返しや説明を求めたりしている。	【聞くこと】 ・「聞くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。
	2 情報を事実と意見に整理する	・「聞くこと」に用いられる語句や文法を知っている。	・日常的な話題についての英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとするのを正確に理解することができる。	・相手を見て話を聞いたり、必要に応じてメモを取るなど、相手の話に関心を持っている。
	3 読み取った内容を時系列に整理する	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	・リズムやイントネーションなど基本的な英語の音声の特徴をとりえ、正しく聞き取ることができる。	・聞いたことについてジェスチャーや簡単なことばで応答したりしている。
	4 論理の構成や展開に配慮し文章を修正する	・ジュスターなど非言語的コミュニケーション手段の役割や用い方を理解している。	・聞いた内容について正しく理解することができる。	・聞いた内容について意見や感想を述べようとしている。
	5 複数の資料を読み考察する	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している	【読むこと】 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。
	6 概要や要点をとらえる	【読むこと】 ・読んだ内容について概要や要点を把握することができる。	・日常的な話題についての英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。	・理解できないところがあっても、推測するなどして聞き続ける。
	7 文章を要約する	・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。	・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。	【読むこと】 ・「読むこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。
	8 資料を活用し、文章のアウトラインを組み立てる	・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。	・日常的な話題についての英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読したり暗唱したりすることができる。	・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心をもっている。
	9 目的に合わせて必要な情報を読み取る	・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。	【話すこと】 ・日常的な話題について英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。	・読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。
	10 情報を事実と意見に整理する	・文字や符号を識別する知識を身に付けている。	・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、話すことができる。	・必要に応じて辞書などを活用している。
後期	11 読み取った内容を時系列に整理する	・場面や状況に応じた表現を知っている。	【話すこと】 ・日常的な話題について英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。	・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。
	12 論理の構成や展開に配慮し文章を修正する	・文章の流れについての知識がある。	・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、話すことができる。	・音読や暗唱に積極的に取り組んでいる。
	13 複数の資料を読み、考察する	・「読むこと」に用いられる語句や文法を知っている。	・文法に従って正しく話すことができる。	【話すこと】 ・「話すこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。
	14 概要や要点をとらえる	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	・伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。	・間違えることを恐れず自分の考えなどを話している。
	15 文章を要約する	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	・日常的な話題について、	・自ら学んだ表現や進んで
	16 資料を活用しアウトラインを組み立てる			

<p>17 目的に合わせて必要な情報を読み取る</p> <p>18 情報を事実と意見に整理する</p> <p>19 読み取った内容を時系列に整理する</p> <p>20 論理の校正や展開に配慮して文章を修正する</p>	<p><b>【話すこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。</li> <li>・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。</li> <li>・場面や状況に応じた表現を知っている。</li> <li>・「話すこと」に用いられる語句や文法を知っている。</li> <li>・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</li> <li>・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や使い方を理解している。</li> <li>・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</li> </ul> <p><b>【書くこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。</li> <li>・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。</li> <li>・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。</li> <li>・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。</li> <li>・必要に応じて辞書などを活用している。</li> <li>・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。</li> <li>・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。</li> <li>・表現できないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。</li> </ul>	<p>場面や目的に応じて、英語で適切に話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい内容、場面、相手、目的などに応じて語句や表現を選択し適切に話すことができる。</li> <li>・相手の発話に対して適切に応答することができる。</li> <li>・場面や目的に応じて適切な高さや声の大きさで話すことができる。</li> <li>・相手の理解を確認しそれに応じて話すことができる。</li> </ul> <p><b>【書くこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な話題について、得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。</li> <li>・文法に従って正しく書くことができる。</li> <li>・伝えたい情報や考えなどを正確に書くことができる。</li> <li>・日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に書くことができる。</li> <li>・内容を整理し、必要な分量を書くことができる。</li> <li>・伝えたい内容、場面、読み手、目的などに応じて、語句や表現を選択し適切に書くことができる。</li> <li>・文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。</li> </ul>	<p>集めた情報などを使って話している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関心をもって質問している。</li> <li>・ペアワークやグループワークなどにおいて積極的に話し合ったり意見の交換をしている。</li> <li>・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。</li> <li>・うまく言えないことがあっても、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。</li> <li>・つなぎ言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている。</li> </ul> <p><b>【書くこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。</li> <li>・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。</li> <li>・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。</li> <li>・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。</li> <li>・必要に応じて辞書などを活用している。</li> <li>・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。</li> <li>・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。</li> <li>・表現できないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。</li> </ul>
<p>備考</p>			

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
英語	スルーリーディングR	1	All Ears Pre-Advanced(美誠社) Smart Reader Standard(いっずな書店)

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の6つの領域において言語活動及びこれらをつなぎ付けた総合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>①外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>②場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	--

授業形態 アドバイス など	<p>スルーリーディングの授業は、様々なテーマの英文を読んだり聞いたりし、その内容に関して、また、本文の表現を応用して、様々な表現活動を行います。授業中の活動に積極的に参加しましょう。</p>
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。</p>	<p>場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。</p>
育たいたい資質 (資質・能力) との関連	<p>教養力:幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力:論理的に考え、批判的に取り下げ、創造する力 表現力:思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力:多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力:自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な 評価方法	<p>○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>1 主格の関係代名詞で名詞を修飾する</p> <p>2 目的格の関係代名詞で名詞を修飾する</p> <p>3 所有格の関係代名詞で名詞を修飾する</p> <p>4 関係代名詞の前に前置詞が入る</p> <p>5 名詞に(主格+動詞)が直接続く</p> <p>6 不定詞を使って名詞を修飾する</p> <p>7 過去分詞を使って名詞を修飾する</p> <p>8 現在分詞を使って名詞を修飾する</p> <p>9 名詞に前置詞句が続く</p> <p>10 名詞修飾のポイントが節の中に複数ある</p> <p>11 名詞修飾のポイントが文の中に複数ある</p> <p>12 関係の that 節で内容を述べる</p> <p>13 関係代名詞 what を使って名詞節を作る</p> <p>14 動名詞が主語になる</p> <p>15 whether を使って名詞節をつくる</p>	<p>【聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面や状況に応じた表現を知っている。</li> <li>「聞くこと」に用いられる語句や文法を知っている。</li> <li>日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</li> <li>ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や使い方を理解している。</li> <li>日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読んだ内容について概要や要点を把握することができる。</li> <li>文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。</li> <li>言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。</li> <li>場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。</li> <li>文字や符号を識別する知識を身に付けている。</li> <li>場面や状況に応じた表現を知っている。</li> <li>文章の流れについての知識がある。</li> <li>「読むこと」に用いられる語句や文法を知っている。</li> <li>日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</li> <li>日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</li> </ul>	<p>【聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理解できないとき、確認したり、繰り返しや説明を求めたりしている。</li> <li>日常的な話題についての英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとするのを正確に理解することができる。</li> <li>リズムやイントネーションなど基本的な英語の音声の特徴を捉え、正しく聞き取ることができる。</li> <li>聞いた内容について正しく理解することができる。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。</li> <li>日常的な話題についての英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。</li> <li>正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。</li> <li>日常的な話題についての英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読したり暗唱したりすることができる。</li> </ul> <p>【話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な話題について英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。</li> <li>正しいリズムやイントネーションなどを用いて、話すことができる。</li> <li>文法に従って正しく話すことができる。</li> <li>伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。</li> <li>日常的な話題について、</li> </ul>	<p>【聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「聞くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。</li> <li>相手をみて話を聞いたり、必要に応じてメモを取るなど、相手の話に関心を持っている。</li> <li>聞いたことについてジェスチャーや簡単なことばで応答したりしている。</li> <li>聞いた内容について意見や感想を述べようとしている。</li> <li>さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。</li> <li>理解できないところがあっても、推測するなどして聞き続ける。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。</li> <li>必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心をもっている。</li> <li>読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。</li> <li>必要に応じて辞書などを活用している。</li> <li>さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。</li> <li>音読や暗唱に積極的に取り組んでいる。</li> </ul> <p>【話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「話すこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。</li> <li>間違えることを恐れず自分の考えなどを話している。</li> <li>自ら学んだ表現や進んで</li> </ul>
後期	<p>16 形式主語の it を使う</p> <p>17 形式目的語の it を使う</p> <p>18 it is ~ that... の強調構文を使う</p> <p>19 比較表現を使う</p> <p>20 仮定法を使う</p> <p>21 so ~ that... を使う</p> <p>22 not only ~ but also... を使う</p> <p>23 否定語が文頭に出て倒置が起こる</p> <p>24 文の要素の順番が変わる</p> <p>25 &lt;the+比較級, the+比較級&gt;の構文を使う</p> <p>26 that 節を and で結ぶ</p> <p>27 每位接続詞で共通関係をつくる</p> <p>28 関係代名詞の非限定用法を使う①</p> <p>29 関係代名詞の非限定用法を使う②</p> <p>30 分詞を使って補足説明を加</p>	<p>【聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。</li> <li>文字や符号を識別する知識を身に付けている。</li> <li>場面や状況に応じた表現を知っている。</li> <li>文章の流れについての知識がある。</li> <li>「読むこと」に用いられる語句や文法を知っている。</li> <li>日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</li> <li>日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</li> </ul>	<p>【話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な話題について英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。</li> <li>正しいリズムやイントネーションなどを用いて、話すことができる。</li> <li>文法に従って正しく話すことができる。</li> <li>伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。</li> <li>日常的な話題について、</li> </ul>	<p>【話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて辞書などを活用している。</li> <li>さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。</li> <li>音読や暗唱に積極的に取り組んでいる。</li> <li>「話すこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。</li> <li>間違えることを恐れず自分の考えなどを話している。</li> <li>自ら学んだ表現や進んで</li> </ul>

<p>える</p> <p>31 分詞を使って副詞的な意味を表す</p> <p>32 with 使って付帯状況を表す</p> <p>33 &lt;動詞+名詞+不定詞&gt;の語順を使う</p> <p>34 &lt;動詞+名詞+動詞の原形&gt;の語順を使う</p> <p>35 &lt;動詞+名詞+補語&gt;の語順を使う</p>	<p><b>【話すこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。</li> <li>・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。</li> <li>・場面や状況に応じた表現を知っている。</li> <li>・「話すこと」に用いられる語句や文法を知っている。</li> <li>・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</li> <li>・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や用い方を理解している。</li> <li>・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</li> </ul> <p><b>【書くこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。</li> <li>・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。</li> <li>・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。</li> <li>・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。</li> <li>・必要に応じて辞書などを活用している。</li> <li>・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。</li> <li>・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。</li> <li>・表現できないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。</li> </ul>	<p>場面や目的に応じて、英語で適切に話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい内容、場面、相手、目的などに応じて語句や表現を選択し適切に話すことができる。</li> <li>・相手の発話に対して適切に回答することができる。</li> <li>・場面や目的に応じて適切な速さや声の大きさで話すことができる。</li> <li>・相手の理解を確認しそれに応じて話すことができる。</li> </ul> <p><b>【書くこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な話題について、得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。</li> <li>・文法に従って正しく書くことができる。</li> <li>・伝えたい情報や考えなどを正確に書くことができる。</li> <li>・日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に書くことができる。</li> <li>・内容を整理し、必要な分量を書くことができる。</li> <li>・伝えたい内容、場面、読み手、目的などに応じて、語句や表現を選択し適切に書くことができる。</li> <li>・文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた情報などを使って話している。</li> <li>・関心をもって質問している。</li> <li>・ペア・ワークやグループ・ワークなどにおいて積極的に話し合ったり意見の交換をしている。</li> <li>・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。</li> <li>・うまく言えないことがあっても、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。</li> <li>・つなぎ言葉をを用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている。</li> </ul> <p><b>【書くこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。</li> <li>・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。</li> <li>・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。</li> <li>・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。</li> <li>・必要に応じて辞書などを活用している。</li> <li>・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。</li> <li>・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。</li> <li>・表現できないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。</li> </ul>
<p>備考</p>			

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科3年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
英語	ABLEβ	1	Jet Reading 英語読解テスト Level 3 (数研出版) Speaking Gym Standard (数研出版)

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらと結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどの確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>①外国語の知識・技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>②場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	--

授業形態 アドバイス など	<p>普通科文系の選択科目です。予習を前提とせず、その場で辞書も使用せずに連続長文を初見読みし、柔軟的な読解力を育成します。また、即興的にペア・ワークで意見交換をしながら、表現力と発信力を高めますので、積極的に自分の考えを英語で話すようにして下さい。同様に、長文の主題に関するパラグラフ・ライティングにも挑戦します。4技能をバランス良く伸ばしていきましょう。</p>
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>外国語の知識・技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。</p>	<p>場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。</p>
育てたい生徒 (資質・能力) との関連	<p>教養力: 幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力: 論理的に考え、批判的に問い下げ、創造する力 表現力: 思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力: 多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力: 自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な 評価方法	<p>○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○パフォーマンス・テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Activity 1 Lesson 1 (教育/エッセイ)  Activity 2 Lesson 2 (歴史/説明文)  Activity 3 Lesson 3 (文化/説明文)  Challenge 1 Lesson 4 (仕事/メール)  Activity 4 Lesson 5 (歴史/説明文)  Activity 5 Lesson 6 (科学/評論)  Activity 6 Lesson 7 (社会/グラフ)  Challenge 2 Lesson 8 (文化/物語)  Activity 7 Lesson 9 (詩/伝記)  Activity 8 Lesson 10 (生活/広告)	<b>【聞くこと】</b> ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・「聞くこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や使い方を理解している。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している  <b>【読むこと】</b> ・読んだ内容について概要や要点を把握することができる。 ・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。 ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。 ・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 ・文字や符号を識別する知識を身に付けている。 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・文章の流れについての知識がある。 ・「読むこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解	<b>【聞くこと】</b> ・理解できないとき、確認したり、繰り返しや説明を求めたりしている。 ・日常的な話題についての英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとするのを正確に理解することができる。 ・リズムやイントネーションなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ることができる。 ・聞いた内容について正しく理解することができる。  <b>【読むこと】</b> ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。 日常的な話題についての英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。 ・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。 日常的な話題についての英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読したり暗唱したりすることができる。  <b>【話すこと】</b> ・日常的な話題について英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。 ・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、話すことができる。	<b>【聞くこと】</b> ・「聞くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・相手を見て話を聞いたり、必要に応じてメモを取るなど、相手の話に関心を持っている。 ・聞いたことについてジェスチャーや簡単なことばで応答したりしている。 ・聞いた内容について意見や感想を述べようとしている。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・理解できないところがあっても、推測するなどして聞き続ける。  <b>【読むこと】</b> ・「読むこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心をもっている。 ・読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・音読や暗唱に積極的に取り組んでいる。  <b>【話すこと】</b> ・「話すこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組

<p>後期</p>	<p>Activity 9 Lesson 11 (文化/説明文)</p> <p>Challenge 3 Lesson 12 (科学/評論)</p> <p>Activity 10 Lesson 13 (生活/メール)</p> <p>Activity 11 Lesson 14 (社会/説明文)</p> <p>Activity 12 Lesson 15 (医療/説明文)</p> <p>Challenge 4 Lesson 16 (生活/クラブ)</p> <p>Activity 13 Lesson 17 (社会/説明文)</p> <p>Activity 14 Lesson 18 (言語/評論)</p> <p>Activity 15 Lesson 19 (歴史/説明文)</p> <p>Lesson 20 (社会/説明文)</p> <p>Challenge 5 Lesson 21 (経済/説明文)</p> <p>Lesson 22 (歴史/説明文)</p>	<p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</li> </ul> <p>【話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。</li> <li>・場面や状況による指勢やイントネーションの違いを理解している。</li> <li>・場面や状況に応じた表現を知っている。</li> <li>・「話すこと」に用いられる語句や文法を知っている。</li> <li>・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</li> <li>・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や用い方を理解している。</li> <li>・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</li> </ul> <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。</li> <li>・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。</li> <li>・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。</li> <li>・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。</li> <li>・必要に応じて辞書などを活用している。</li> <li>・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。</li> <li>・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。</li> <li>・表現できないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法に従って正しく話すことができる。</li> <li>・伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。</li> <li>・日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に話すことができる。</li> <li>・伝えたい内容、場面、相手、目的などに応じて語句や表現を選択し適切に話すことができる。</li> <li>・相手の発話に対して適切に回答することができる。</li> <li>・場面や目的に応じて適切な速さや声の大きさで話すことができる。</li> <li>・相手の理解を確認しそれに応じて話すことができる。</li> </ul> <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な話題について、得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。</li> <li>・文法に従って正しく書くことができる。</li> <li>・伝えたい情報や考えなどを正確に書くことができる。</li> <li>・日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に書くことができる。</li> <li>・内容を整理し、必要な分量を書くことができる。</li> <li>・伝えたい内容、場面、読み手、目的などに応じて、語句や表現を選択し適切に書くことができる。</li> <li>・文のつながりや構成を考え文章を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間違えることを恐れず自分の考えなどを話している。</li> <li>・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って話している。</li> <li>・関心をもって質問している。</li> <li>・ペアワークやグループワークなどにおいて積極的に話し合ったり意見の交換をしている。</li> <li>・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。</li> <li>・うまく言えないことがあっても、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。</li> <li>・つなぎ言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている。</li> </ul> <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。</li> <li>・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。</li> <li>・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。</li> <li>・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。</li> <li>・必要に応じて辞書などを活用している。</li> <li>・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。</li> <li>・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。</li> <li>・表現できないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。</li> </ul>
<p>備考</p>				